

小委員会の調査報告書

| | | |
|--|---|---------------------|
| <p>教科名</p> | <p>算 数</p> | <p>委員長名 畠 山 博 次</p> |
| <p>調 査 研 究 の 経 過</p> | <p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を6月13日(火)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、算数小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 6月14日(水)から7月11日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月12日(水)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東書、大日本、学図、教出、啓林館、日文の6者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p> | |
| <p>調 査 研 究 に 当 た っ て の 配 慮 事 項</p> | <p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について</p> <p>上記1、2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p> | |
| <p>少 数 意 見 そ の 他</p> | <p></p> | |

様式 2

| 教科名 | | 算 数 | | | | |
|---|---|------|---------|---|------|-----------|
| | 出版社名 | 教科書名 | 番 号 | 出版社名 | 教科書名 | 番 号 |
| | | 東書 | 新編新しい算数 | 112 113 212 213 312 313 412 413 512 513 612 | 大日本 | 新版 たのしい算数 |
| 取 扱 内 容 ・ 内 容 の 構 成 ・ 排 列 | <p>○数と計算については、図や操作と式を相互に関連付ける活動を通して、数の構成を理解するとともに、計算の手順が身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○図形については、既習を基に問題解決の方法を見いだす活動を通して、図形の構成要素に着目し、特徴を調べる力を育成できるよう工夫されている。</p> <p>○測定については、身近なものの長さや重さを比べたり測ったりする活動を通して、量感の育成が図られている。</p> <p>○変化と関係については、数直線の読み取りや倍の概念との関連付けを通して、2つの数量関係を表現する技能を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○データの活用については、統計的な問題解決の技能を習得するとともに、日常生活で目にするデータの読み取りを通して、批判的な考え方を育む工夫がなされている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、解決の必要性が感じられる課題を設定するとともに、主体的・対話的な問題解決の過程を可視化し、数学的な見方・考え方を働かせて活動ができるよう工夫されている。</p> <p>○内容の構成については、各時間に、めあてとまとめを分かりやすく明示するとともに、練習問題で理解の確認や技能の定着ができるよう工夫されている。</p> <p>○「同じように考えると」「それなら」などを適宜設定することにより、思考を活性化させ数学的な見方・考え方を深められるよう工夫されている。</p> <p>○内容の排列については、習熟に時間を要する内容は2つの単元に分けて取り扱うなど、児童の発達段階、単元相互の関連に応じて、系統的・発展的・効果的に学習が積み上げられるよう工夫されている。</p> | | | <p>○数と計算については、具体物や数直線などを用いて、数についての感覚を豊かにしようとするとともに、スモールステップの構成とし技能を定着できるよう工夫されている。</p> <p>○図形については、具体的操作や構成活動を取り入れるとともに、写真や動画コンテンツを用いて、図形についての感覚を豊かにするよう工夫されている。</p> <p>○測定については、実際に測定する活動を通して、量感を育成するとともに、量の概念を理解し、的確に表現できるよう工夫されている。</p> <p>○変化と関係については、式の意味を図で理解しやすくするとともに、二つの数量の関係を調べる表を自ら作成して考察できるよう工夫されている。</p> <p>○データの活用については、身近な生活場面における問題を扱い、問題解決する必要感をもたせるとともに、表やグラフを活用し、思考を深めるよう工夫されている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、問題解決型の学習の流れを重視し、多様な解決方法を比較検討して話し合う活動を取り入れ、深い学びが実現するよう工夫されている。</p> <p>○内容の構成については、毎時の学習に適用問題を設け、単元末には「たしかめ問題」を設定し、知識・技能面だけでなく単元で使った見方・考え方が着実に身に付くよう工夫されている。</p> <p>○学習のめあてを示し、本時の内容を的確に意識しながら学習を進められるようにするとともに、豊富な適用問題で技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○内容の排列については、学習内容の系統性や領域のバランス、他教科との関連、児童の発達段階、学習時期などを総合的に考慮し、学習と指導がスムーズに行われるよう工夫されている。</p> | | |
| 使 用 上 の 配 慮 等 | <p>○「単元プロローグ」では、学校や日常生活との関連を重視した場面設定、関連する単元の学習についての振り返りを通して、解決したい課題を焦点化したり、「オープニングムービー」で学習動機を創出する動画を適宜設定したりするなど工夫がなされている。</p> <p>○「つないでいこう算数の目」では、単元で獲得した数学的な見方・考え方を振り返る問題を設定したり、「今日の深い学び」では、対話による導入で学習の連続性を基盤とした問題提示がなされたりするなど、主体的に課題を見いだして学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン教科書体を全面的に採用したり、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードからデジタルコンテンツを活用して理解を深められるようにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p> | | | <p>○「アプローチページ」を設け、児童自身が問題や疑問を見だし、主体的に学習に取り組めるような工夫をしたり、「算数教室」で興味・関心を高め、算数が社会で生かされていることを実感したりできるようにしている。</p> <p>○巻頭の「算数の学び方」で、学習を発展的にひろげることを示したり、本文中の吹き出しで学習を発展的にひろげる様子を示したりすることで、児童自らが課題を見だし、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。</p> <p>○全面的なユニバーサルデザインフォントの使用、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色の工夫、二次元コードから豊富なデジタルコンテンツを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p> | | |
| そ の 他 | <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○第1学年の第一分冊をA4判とし、操作活動がしやすいノート一体型の構成にすることにより、保・幼・小の円滑な接続が意図されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインへの対応、重要事項の囲み、読みやすい位置での改行など、使いやすさへの配慮がある。</p> | | | <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○「6年間のまとめ」で中学校へ向けて習熟を確実にしたい内容を重点的に扱い、中学校への接続を意図している。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントや国語科での学習と整合性のとれている書体の使用、配色などの工夫を行い、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮している。</p> | | |

様式 2

| 教科名 | | 算 数 | | | | |
|---|---|------|---------------|--|------|------|
| | 出版社名 | 教科書名 | 番 号 | 出版社名 | 教科書名 | 番 号 |
| | | 学図 | みんなと学ぶ 小学校 算数 | 116 117 216 217 316 317 416 417 516 517 616 617 | 教出 | 小学算数 |
| 取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列 | <ul style="list-style-type: none"> ○数と計算については、桁数が少ないものから多いものを扱うなど児童の発達段階を考慮し、段階を細かく分け、図や操作活動を通して学習できるよう工夫されている。 ○図形については、かく・折るなど数学的活動を通して、図形の調べ方を育成できるよう工夫されている。 ○測定については、写真や図をもとにし、直接比較から間接比較、任意単位へ量の概念の理解を深め、的確に表現する技能が定着するよう工夫されている。 ○変化と関係については、倍の概念を学習する単元を特別単元として設定し、系統的な学習を通して、関連する単元の理解を深める工夫がなされている。 ○データの活用については、データを整理する技能を習得する単元と、整理されたデータを用いて課題を解決する単元に分けて構成するなどの工夫がなされている。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、場面イラストを用い、学習内容への興味を喚起するとともに、多様な考え方を示し、他者の考え方を理解し認め、統合的に捉える力が育まれるよう工夫されている。 ○内容の構成については、「?を発見」「つながりの?」など、問題解決型の学習サイクルが明確になるよう工夫されている。 ○「できるようになったこと」「まなびをいかそう」などを通して、系統的・発展的に学習が積み上げられるよう工夫されている。 ○内容の排列については、第3学年「わり算」、第5学年「割合」など習熟に時間を要する内容を2つの単元に分割し、指導時期も分けることにより、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られるよう工夫している。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ○数と計算については、操作的な活動をしていく中で計算の仕方を考察する力を育成し、計算の意味を理解できるよう工夫されている。 ○図形については、切ったり折ったり等の活動を通して図形の性質や構成する要素について理解し、図形間の関係に着目して考察する力を育成できるよう工夫されている。 ○測定については、日常生活に関連するものを比べたり測ったりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現できる力を育成できるよう工夫がなされている。 ○変化と関係については、テープ図や数直線を活用しながら、二つの数量の関係を表や式で表す技能を身に付けられるよう工夫がなされている。 ○データの活用については、児童にとって身近で取り組みやすい題材を選定し、統計的な問題解決を図るための方法が理解できるよう工夫がなされている。 ○主体的・対話的で深い学びに資する学習については、子どもが能動的に関わる課題を設定し、数学的活動を通して多様な考えのつなげ方・広げ方・深め方を身に付けられるよう工夫がなされている。 ○内容の構成については、毎時間「はてな」の問いから学習のめあてを設定して問題発見力の育成を図ったり、「なるほど」で子どもの言葉で「見方・考え方」を提示し、数学の思考・判断・表現の力の育成を図ったりする工夫がなされている。 ○「算数のミカタ」や単元末の「振り返ろう」で学習のまとめを設けるなど、発達や学年に応じた系統的・段階的の反復によって、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られるよう工夫されている。 ○内容の排列については、学習内容や見方・考え方を関連付けて学べるようにしたりするなど、最適な学習の効果が得られるよう工夫がなされている。 | | |
| 使 用 上 の 配 慮 等 | <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容を統合的に考察する場面として「ふりかえろう つなげよう」を、図や表の技能を段階に応じて系統的に身に付けられるよう「図や表を使って問題を考えよう」を設定するとともに、見方・考え方をキャラクター化した「考え方モンスター」のページが折込形式で採用され、数学的な見方・考え方を働かせて問題解決ができるよう工夫がなされている。 ○他教科と合わせた単元排列がなされ、「算数をつかって」では総合的な学習として扱える話題を取り上げるなど、現代的な課題に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ユニバーサルデザインフォントを全面的に採用したり、二次元コードからデジタルコンテンツを活用して理解を深められるようにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ○「きっかけページ」で好奇心を高める教材を取り上げ、「広がる算数」では算数の学習と現実世界をつなげる探究教材を取り扱うなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○「学んだことを使おう」では、学習したことをもとに日常の場面の問題を解決していくことで、「何ができるようになったか」を実感できるようにしたり、「ステップアップ算数」で子どもの実態に応じて柔軟に取り組める問題を多く掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ユニバーサルデザインフォントを採用し、1人1台端末を活用した学習活動として、シミュレーション教材やアニメーション教材を使用して理解を深められるよう、使用上の便宜が図られている。 | | |
| そ の 他 | <ul style="list-style-type: none"> ○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○第6学年では、別冊で「中学校へのかけ橋」が設定され、小・中の円滑な接続が意図されている。 ○色覚に関するチェックを受け、全面的にカラーバリエーションとなるよう配慮するとともに、主要な問題を枠で囲んだり、重要な内容は他と形などを区別したりして読み取りやすい工夫がなされている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○6年生の「数学へのとびら」では、数学の内容に簡単に触れるなど、円滑な小中接続が意識されている。 ○カラーユニバーサルデザインへの対応、読みやすい改行、問題文と図や式を対応させやすくするなど、使いやすさへの配慮がある。 | | |

様式 2

| 教科名 | | 算 数 | | | | |
|---------------|--|------|---------|--|------|------|
| | 出版社名 | 教科書名 | 番 号 | 出版社名 | 教科書名 | 番 号 |
| | | 啓林館 | わくわく 算数 | 120 121 220 221 320 321 420 421 520 620 | 日文 | 小学算数 |
| 取扱内容、内容の構成・排列 | <p>○数と計算については、計算を説明する活動を通して、計算の意味を理解し、計算の仕方を考察する力を育成できるよう工夫されている。</p> <p>○図形については、操作的な活動の方法を考える活動を通して図形の意味と性質を理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目して考察する力を育成できるよう工夫されている。</p> <p>○測定については、身の回りにあるものを比べたり測ったりする活動を通して、量の概念を理解し、的確に表現できる力を育成できるよう工夫されている。</p> <p>○変化と関係については、日常場面を題材として、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察できるよう工夫されている。</p> <p>○データの活用については、日常の問題を統計で解決する過程を重視し、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成できるよう工夫されている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びに資する学習については、日常の事象をベースとした課題を設定し、登場人物の対話場面を例示することにより、他者と考えを広げたり深めたりする活動ができるよう工夫されている。</p> <p>○内容の構成については、単元全体のめあてを明示して学習の見通しをもたせやすくするとともに、「見方・考え方」をマーカーで提示し、数学的な思考・判断・表現の力が育成されるよう工夫が図られている。</p> <p>○「じゅんぴ」等、系統的・段階的反復によって、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○内容の排列については、類似単元を複数の単元に分け、習熟の時間が確保できるよう工夫されている。</p> | | | <p>○数と計算については、図を用いたり式を操作・変形したりする活動を通して、計算の意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成できるよう工夫されている。</p> <p>○図形については、操作的な活動を通して、意味と性質を理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目して考察する力を育成できるよう工夫されている。</p> <p>○測定については、身近なものを比べたり測定したりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるよう工夫されている。</p> <p>○変化と関係については、身近な題材を活用して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察できるよう工夫されている。</p> <p>○データの活用については、統計的な問題解決の過程を重視し、グラフ等に表す技能及びデータの特徴や傾向に着目して多面的に考察する力を育成できるよう工夫されている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、必要感のある課題を設定し、数学的活動を通して自分の考えを表現したり他者と協働して取り組んだりしながら考えを深め広げる活動ができるよう工夫されている。</p> <p>○内容の構成については、各時間に「めあて」と「まとめ」を明示して学習の流れを分かりやすくするとともに、単元内の随所に「見方・考え方」を提示し、数学的に思考・判断・表現する力が着実に育まれるよう工夫されている。</p> <p>○「次の学習のために」「学習をたしかに」など、系統的・段階的反復によって、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○内容の排列については、割合の学習の直後に帯グラフと円グラフの学習を取り扱うなど、児童の発達段階に応じて、連続的に関連する学習内容が取り扱われ、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。</p> | | |
| 使用上の配慮等 | <p>○「単元とびら」で日常の問題等の児童の興味に働きかける教材を用意したり、「算数の自由研究」で、探究活動の楽しさに触れられるようにしたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「やってみよう」で学習内容をさらに探究して算数の楽しさを実感できるようにしたり、「もっとやってみよう」で子どもの実態に応じて柔軟に取り組める問題を多く掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを採用し、1人1台端末を活用した学習活動として、デジタルコンテンツや解説動画を使用して理解を深められるよう、使用上の便宜が図られている。</p> | | | <p>○「単元アプローチ」で興味や好奇心に働きかける題材を用意したり、「なるほど算数」で算数に関する豆知識的なコラムを掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「使ってみよう」で学習内容を生活場面に生かして算数の楽しさや意義を実感できるようにしたり、「算数マイトライ」で子どもの実態に応じて柔軟に取り扱いができる多彩な問題を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを全面的に採用したり、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードからデジタルコンテンツを活用して理解を深められるようにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p> | | |
| その他 | <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○6年生の「数学へのパスポート」では、既習内容を数学の学習と関連付けて紹介するなど、円滑な小中接続が意識されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインへの対応、写真や挿絵の有効活用など、使いやすさへの配慮がある。</p> | | | <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○6年生の「もうすぐ中学生」で数学の内容に簡単に触れるなど、円滑な小中接続が意図されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインへの対応、分かりやすいデザインの囲み、読みやすい位置での改行、必要なルビ振りなど、使いやすさへの配慮がある。</p> | | |